

<予想分配金提示型・為替ヘッジあり>

第17期末 (2024年9月17日)	
基準価額	8,265円
純資産総額	15百万円
第15期～第17期 (2024年3月16日～2024年9月17日)	
騰落率	2.7%
分配金合計	0円

<予想分配金提示型・為替ヘッジなし>

第17期末 (2024年9月17日)	
基準価額	10,981円
純資産総額	55百万円
第15期～第17期 (2024年3月16日～2024年9月17日)	
騰落率	0.9%
分配金合計	240円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイSDGs インカムファンド

(予想分配金提示型・為替ヘッジあり)
(予想分配金提示型・為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／債券

運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2024年3月16日～2024年9月17日

第15期 (決算日 2024年5月15日)

第16期 (決算日 2024年7月16日)

第17期 (決算日 2024年9月17日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイSDGsインカムファンド(予想分配金提示型・為替ヘッジあり) / (予想分配金提示型・為替ヘッジなし)」は、このたび第17期の決算を行いました。

各ファンドは、「ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド」および「ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド」受益証券への投資を通じて、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ニッセイアセットマネジメント株式会社における「ESGファンド」について

ニッセイアセットマネジメント株式会社（以下「弊社」といいます）は、ファンドの設定目的や運用方針等をもとに、弊社が設定・運用する公募投資信託において「ESGファンド」と位置付けるファンドを分類しています。

当ファンドは、「ESGファンド」に該当いたします。

以下に弊社における「ESGファンド」の考え方をご説明いたします。

■ ESG運用とは

まず、ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）の頭文字をとった言葉で、ESG運用とはこれらの要素を投資判断に加味する運用のことをいいます。ESG運用については、持続可能な社会および国際金融システムの実現をめざすために、2006年に国連が中心となり提唱した責任投資原則（PRI：Principles for Responsible Investment）をきっかけとして広まっている考え方です。

■ 弊社の「ESGファンド」の考え方について

弊社ではESG要素を積極的に活用し、ポートフォリオを構築するファンドを「ESGファンド」としています。「アクティブファンド」において、ESG要素を積極的に活用する運用とは、相対的にESG評価の高い銘柄を選別したり、ESGの観点でインパクト創出可能な銘柄を選別したりする運用のことをいいます*1。運用ファンド全体の中でESGファンド以外の区分としては、ESG要素を体系的に運用プロセスに組み込んでいるファンド、ネガティブスクリーニング*2などでESG要素を考慮しているファンド、およびESG要素を考慮していないファンドがあります。

なお、ESGファンドの中で、特にSDGs*3のゴール達成という観点においても優れた投資銘柄でポートフォリオを構築するファンドを「SDGsファンド」、また環境や社会へのインパクト創出も企図し、その効果をレポートするファンドを「インパクトファンド」としています。

*1 「インデックスファンド」においては、ESG要素を積極的に活用して構成されていると弊社が考える指数に連動するファンドをESGファンドとしています。

*2 ESGの観点から特定の銘柄等を投資対象から除外することをいいます。

*3 Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）のことです。2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。

< ESGファンドの考え方（イメージ） >

運用ファンド全体

ネガティブスクリーニングなどでESG要素を考慮しているファンド

ESG要素を体系的に運用プロセスに組み込んでいるファンド

ESGファンド

ESG要素を積極的に活用し、
ポートフォリオを構築するファンド
(SDGs・インパクトファンドを含む)

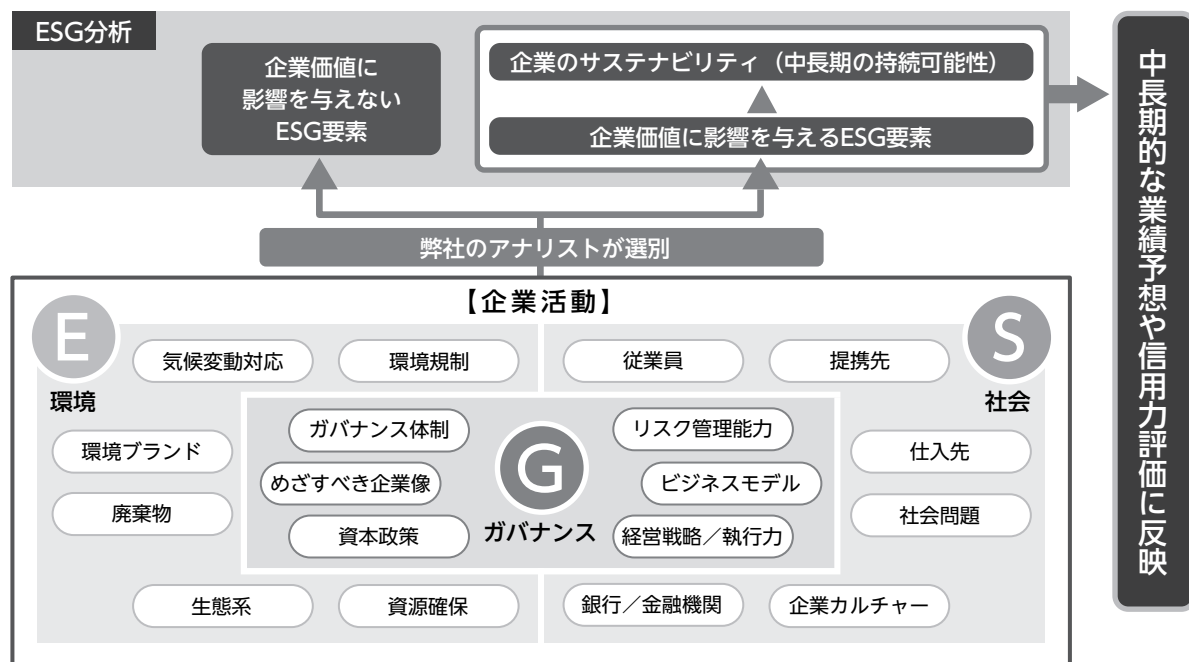
ESG要素を考慮していないファンド

■ 弊社のESGに対する考え方について

弊社では、ESGは企業のあらゆる活動に影響を与える要素であると考えており、企業のESGに関する取り組みを分析することで、企業のサステナビリティ（中長期的な持続可能性）や中長期的な企業像を把握することができると考えています。また、一般にESGの観点で優れた取り組みを行い、ステークホルダー（企業のあらゆる利害関係者）との持続的な関係を構築できる企業は、中長期的に持続的な成長基盤を有していると考えられます。

弊社では、アナリストが、ESG要素の中で企業価値に影響を与えるものを企業毎に選別しながらサステナビリティの評価（ESGレーティング（詳細は後述）*の付与）を行います。その評価を中長期的な業績予想や信用力評価に反映させ、投資判断の土台として活用しています。

< 企業活動と弊社のESG評価（イメージ） >



※弊社の「ESGレーティング」について

弊社のESG評価は、企業のESGに関する取り組みが中長期的な企業価値に「ポジティブか」「中立的か」「ネガティブか」の原則3段階とし、1～3のESGレーティングを付与しています（レーティング1が高評価）。ただし、ESGの取り組みを通じて企業価値の大きな業損が懸念されるものの、時価総額が大きい等の理由で投資ユニバースとして継続する企業には、レーティング4を付与することがあります。なお、企業のESGレーティングの付与においては、グローバルに共通のプラットフォームを用いながら資産横断的に独自の評価を実施しています。

< E S Gレーティングの内容 >

レーティング	内容
1	企業の E S Gに関する取り組みが企業価値にポジティブ
2	企業の E S Gに関する取り組みが企業価値に中立
3	企業の E S Gに関する取り組みが企業価値にネガティブ
4	企業の E S Gに関する取り組みが企業価値に大きくネガティブ
付与なし	流動性や信用リスク等の観点から原則アクティブ運用の投資ユニバース外

なお、第三者の運用会社に運用の委託等を行う外部運用における E S Gに対する考え方や E S Gレーティングの付与手法などについては、上述の限りではありません。

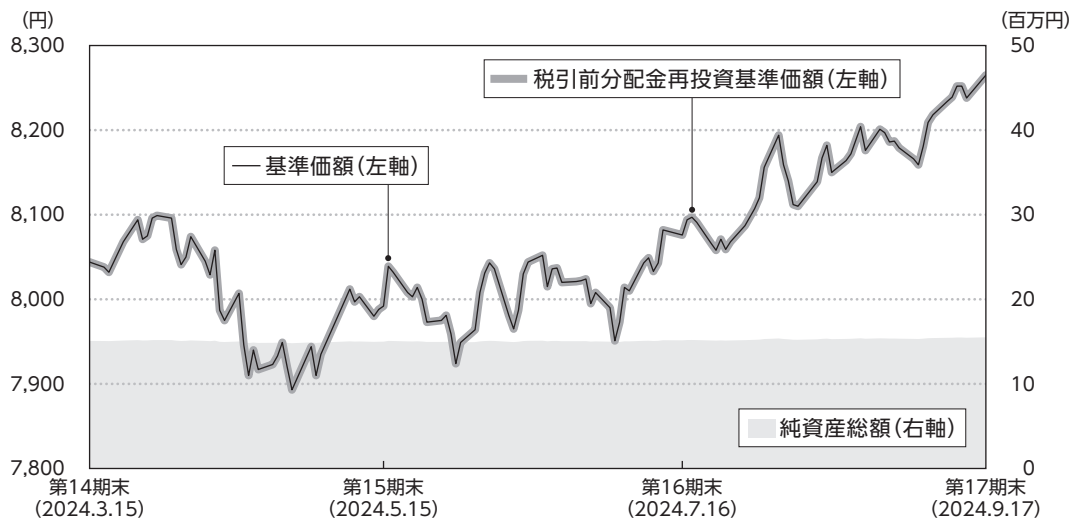
以 上

弊社の E S Gファンドの考え方等は、今後の E S Gを取り巻く情勢等に応じ見直す場合があります。

運用経過

2024年3月16日～2024年9月17日

基準価額等の推移



第15期首	8,044円	既払分配金	0円
第17期末	8,265円	騰落率 (分配金再投資ベース)	2.7%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・7月から当作成期末にかけて米新規失業保険申請件数が増加するなど、米連邦準備制度理事会（FRB）が重視する雇用市場の鈍化が意識され、利下げ期待が高まったことから欧米金利が低下（債券価格上昇）したこと

<下落要因>

- ・4月から5月にかけてサプライマネジメント協会（ISM）製造業景況感指数や雇用統計などの米主要経済指標が市場予想を上回ったことからFRBおよび欧州中央銀行（ECB）による利下げ開始期待が後退し、欧米金利が上昇したこと

組入マザーファンド	組入比率	騰落率
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	63.4%	1.7%
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	32.2	0.6

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

1万口当たりの費用明細

項目	第15期～第17期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	37円	0.465%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,057円です。
(投信会社)	(18)	(0.224)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(18)	(0.224)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	1	0.011	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(先物・オプション)	(1)	(0.011)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	2	0.026	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(0)	(0.005)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(1)	(0.016)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	40	0.502	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

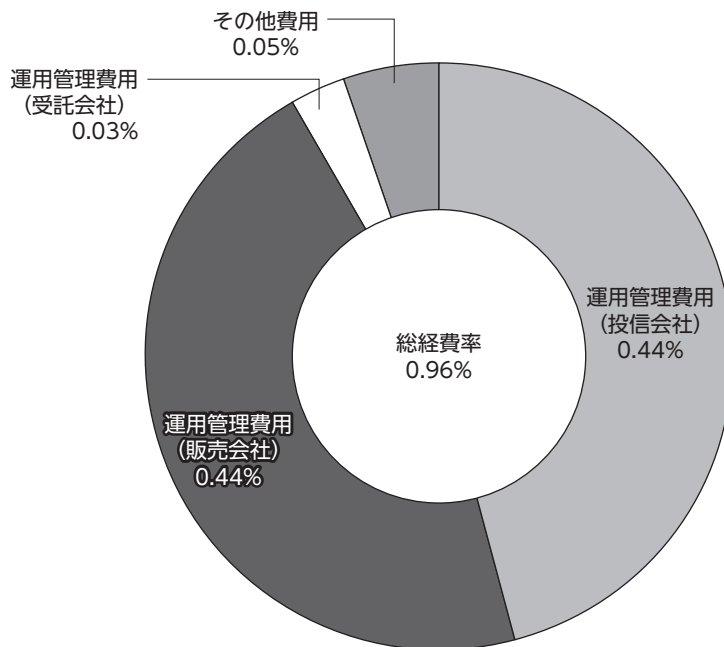
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



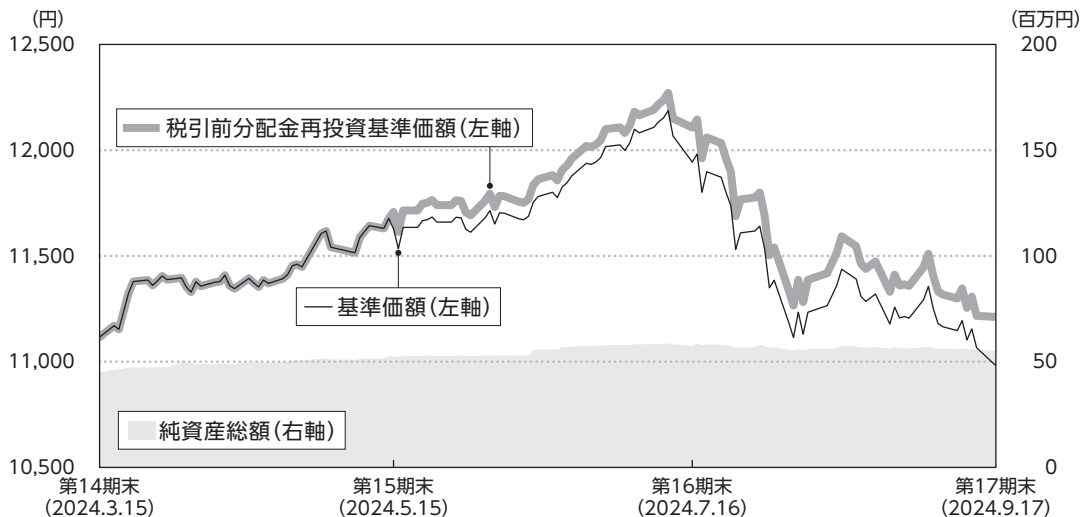
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第15期首	11,116円	既払分配金	240円
第17期末	10,981円	騰落率（分配金再投資ベース）	0.9%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・当作成期初から7月中旬にかけて、減速しつつも堅調な米景気を背景にFRBおよびECBによる利下げ時期の後ずれが意識された一方、日銀による金融緩和政策が維持されるとの期待感を背景に、内外金利差に着目した円を売り欧米通貨で運用するキャリートレードが活発化し、ドル・ユーロが対円で大幅に上昇したこと

<下落要因>

- ・7月中旬から当作成期末にかけて米雇用市場の減速を背景に米利下げ期待が高まった一方、日銀が7月の会合で利上げを決定したことに加え、次回会合以降におけるさらなる利上げを示唆したことで内外金利差の縮小が意識され、ドル・ユーロが対円で大幅に下落したこと

組入マザーファンド	組入比率	騰落率
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	67.1%	1.7%
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	32.9	0.6

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

1万口当たりの費用明細

項目	第15期～第17期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	54円	0.465%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,539円です。
(投信会社)	(26)	(0.224)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(26)	(0.224)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	1	0.012	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(先物・オプション)	(1)	(0.012)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	3	0.026	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(1)	(0.005)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(2)	(0.016)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	58	0.503	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

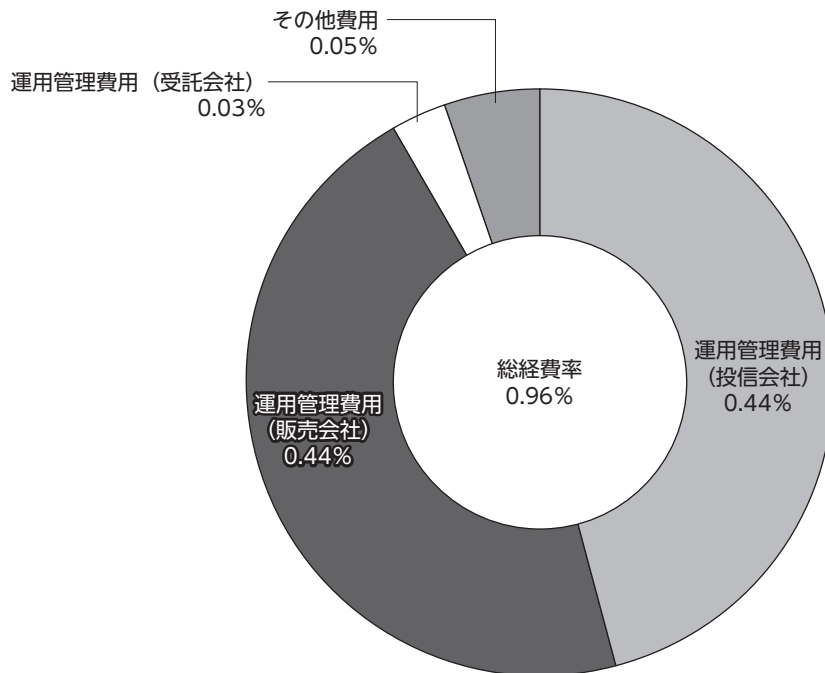
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■北米社債市況

【ブルームバーグ米国社債インデックス
(利回り)の推移】



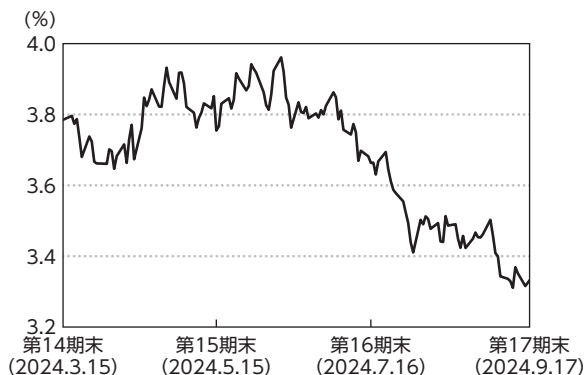
(注) ブルームバーグのデータを使用しています。以下同じです。

当作成期の社債利回り（ブルームバーグ米国社債インデックス（利回り））は、4月初めから月末にかけて米国国債利回りの上昇を受けて上昇しましたが、5月以降はF R Bによる利下げ開始が近いとの期待感が高まり、米国国債利回りが低下したことから低下基調で推移しました。

社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）については、8月のリスクオフ（リスク商品から安定資産へ向かう動き）局面で拡大する場面もありましたが、堅調な米国景気・企業業績を背景に当作成期を通じて見るとおおむね横ばい圏で推移しました。

■欧州社債市況

【ブルームバーグ欧州社債インデックス
(利回り)の推移】

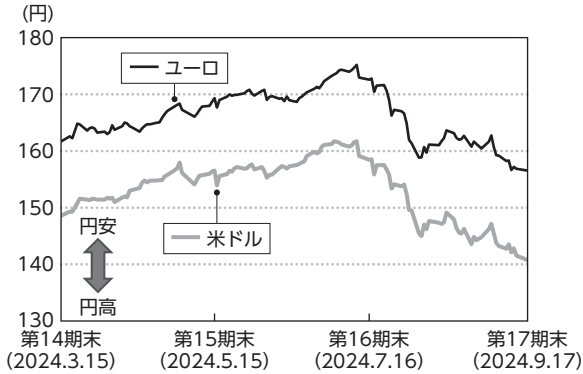


当作成期の社債利回り（ブルームバーグ欧州社債インデックス（利回り））は4月から6月にかけて欧州（ドイツ）国債利回りの上昇を受けて上昇しましたが、6月以降はE C Bによる利下げが開始され欧州国債利回りが低下したことから低下基調で推移しました。

社債スプレッドについては、当作成期初から7月にかけて堅調な企業業績を受け低水準での推移が続いたものの、8月のリスクオフ局面で拡大したため、結局、前作成期末比では拡大して当作成期末を迎えました。

■為替市況

【為替レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル／円レートは当作成期を通じて見ると下落しました。当作成期初から6月にかけて、内外金利差に着目した円を売り欧米通貨で運用するキャリートレードが活発化し円安基調となりましたが、その後は7月の日銀会合で利上げが実施されたことをきっかけにキャリートレードが巻き戻され、円高傾向となりました。

ユーロ／円レートは当作成期を通じて見ると下落しました。米ドル／円と同様、キャリートレードの活発化で円安が進んだ後は巻き戻しから一転して円高傾向となりました。

ポートフォリオ

各ファンド

「ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド」および「ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド」への投資を通じ、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。なお「予想分配金提示型・為替ヘッジあり」については、実質組入外貨建資産において、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド

北米の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当作成期末における国・地域別投資状況は組入比率の高い順にアメリカ(96.5%)、カナダ(3.5%)であり、格付別投資状況はAAA格(2.7%)A格(41.1%)、BBB格(56.2%)となっています。

(注1) 比率はマザーファンドにおける対組入債券評価額比です。以下同じです。

(注2) 格付はムーディーズ社、S&P社のうち、上位の格付を採用しています。以下同じです。

組入上位5銘柄

	銘柄	比率	主な関連するSDGs / SDGs達成に関連した安定的なキャッシュフロー創出の取り組み
1	ハズブロ	3.7%	SDGs目標「質の高い教育をみんなに」に貢献。 グローバルなブランドを有する米国の玩具メーカー。1,500種類に上るキャラクター玩具を製造販売、ディズニーなどの外部のコンテンツ保有会社との提携商品も手掛ける。就学前教育にかかる製品提供を通じた幼児向け教育機会の提供に貢献。
2	サザン	3.7%	SDGs目標「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に貢献。 電力会社を複数保有する持株会社で米国にて総合電力事業を展開。原子力発電や、風力・太陽光などの再生可能エネルギーを活用した発電を通じた炭素排出量削減への貢献が、安定したキャッシュフロー創出に寄与する見通し。
3	CVSヘルス	3.7%	SDGs目標「すべての人に健康と福祉を」に貢献。 米国最大手のドラッグストアチェーン。南米一部地域を含め9,900店舗以上を展開。医薬品小売を通じたプライマリーケア（一次診断）の提供のみならず、保険・医療機器、サービス情報へのアクセスの確保により精神衛生を含む健康福祉の促進への貢献が安定したキャッシュフロー創出を支える見通し。
4	バークシャー・ハサウェイ・エナジー	3.4%	SDGs目標「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に貢献。 電力会社を複数保有する持株会社で米国を中心に総合電力事業を展開。風力や太陽光などの再生可能エネルギーを活用した発電を通じた炭素排出量削減への貢献により、安定したキャッシュフロー創出が実現されると期待。
5	ファイサーブ	3.4%	SDGs目標「働きがいも経済成長も」に貢献。 金融機関向けの決済取引処理事業を手がける世界トップクラスのプロバイダー。デジタルバンキングなど金融サービスソリューションを提供。銀行業務と取引処理の重要な部分を担い、人々の金融サービスへのアクセス促進に貢献することでキャッシュフロー創出力が高まると期待。

組入銘柄のESGレーティング (2024年8月末時点)

区分	比率
レーティング 1(最高位)	50.5%
レーティング 2	49.5%
レーティング 3	—
レーティング 4	—
レーティングなし	—

(注1) 各銘柄のESGの取り組みに対する当社のESG評価を記載しています。以下同じです。

(注2) 区分の詳細につきましては、前掲の<ESGレーティングの内容>をご参照ください。以下同じです。

■ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド

欧州の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当作成期末における国・地域別投資状況は組入比率の高い順にフランス(33.0%)、イギリス(21.9%)、オランダ(20.0%)であり、格付別投資状況はAA格(11.5%)、A格(33.9%)、BBB格(54.6%)となっています。

組入上位5銘柄

	銘柄	比率	主な関連するSDGs / SDGs達成に関連した安定的なキャッシュフロー創出の取り組み
1	ボーダフォン・グループ	3.9%	SDGs目標「産業と技術革新の基盤を作ろう」等に貢献。 イギリスに拠点を置く通信事業者。ネットワークインフラへの投資を継続し新興国における高品質な通信インフラ・アクセス網の構築に貢献。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
2	サンゴバン	3.7%	SDGs目標「住み続けられるまちづくりを」等に貢献。 グローバルな建築用資材メーカー。断熱材やガラス製品は建物のエネルギー消費量削減に寄与。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
3	テリア	3.6%	SDGs目標「住み続けられるまちづくりを」等に貢献。 スウェーデンの通信事業者。信頼性とエネルギー効率に優れた光ファイバーネットワークを展開し、アクセス網の構築、エネルギー効率の改善に貢献。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
4	ナショナル・グリッド	3.5%	SDGs目標「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」等に貢献。 イギリスに拠点を置く公益企業。風力発電や太陽光発電といったクリーンエネルギーの送電網を構築することにより、環境問題解決および産業基盤維持に寄与。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
5	モタビリティ・オペレーションズ・グループ	3.4%	SDGs目標「人や国の不平等をなくそう」等に貢献。 イギリスに拠点を置く慈善団体の関連企業で福祉車両のリースサービスを手がける。体の不自由な人やその家族に対する比較的安価な交通手段の提供を通じた社会福祉および社会的な格差是正への貢献が安定したキャッシュフロー創出を支える見込み。

組入銘柄のESGレーティング (2024年8月末時点)

区分	比率
レーティング 1(最高位)	48.3%
レーティング 2	51.7%
レーティング 3	—
レーティング 4	—
レーティングなし	—

ベンチマークとの差異

■ 予想分配金提示型・為替ヘッジあり

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■ 予想分配金提示型・為替ヘッジなし

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■ 予想分配金提示型・為替ヘッジあり

当作成期の分配金は、各決算日の前営業日の基準価額が当運用報告書「各ファンドの概要」分配方針記載の10,100円未満であることなどから、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第15期	第16期	第17期
	2024年3月16日 ～ 2024年5月15日	2024年5月16日 ～ 2024年7月16日	2024年7月17日 ～ 2024年9月17日
当期分配金（税引前）	－	－	－
対基準価額比率	－	－	－
当期の収益	－	－	－
当期の収益以外	－	－	－
翌期繰越分配対象額	433円	478円	524円

■ 予想分配金提示型・為替ヘッジなし

当作成期の分配金は、各決算日の前営業日の基準価額に応じ、当運用報告書「各ファンドの概要」分配方針などから基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第15期	第16期	第17期
	2024年3月16日 ～ 2024年5月15日	2024年5月16日 ～ 2024年7月16日	2024年7月17日 ～ 2024年9月17日
当期分配金（税引前）	80円	80円	80円
対基準価額比率	0.68%	0.67%	0.72%
当期の収益	80円	80円	51円
当期の収益以外	－	－	28円
翌期繰越分配対象額	1,715円	2,027円	1,999円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

「ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド」および「ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド」への投資を通じ、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。なお「予想分配金提示型・為替ヘッジあり」については、実質組入外貨建資産において、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

■ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド

北米の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

引き続き、SDGsを含むESG分析を通して銘柄選択を行い、最長15年までのラダー型ポートフォリオを構成し、社債市場全体（投資適格）を上回るリスク・リターン効率をめざします。

■ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド

欧州の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

引き続き、SDGsを含むESG分析を通して銘柄選択を行い、最長15年までのラダー型ポートフォリオを構成し、社債市場全体（投資適格）を上回るリスク・リターン効率をめざします。

ファンドデータ

ニッセイSDGsインカムファンド（予想分配金提示型・為替ヘッジあり）の組入資産の内容

組入ファンド

	第17期末 2024年9月17日
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	63.4%
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	32.2

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

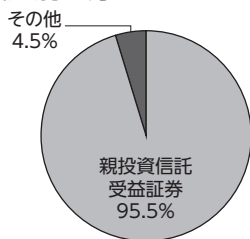
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

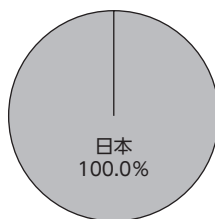
項目	第15期末 2024年5月15日	第16期末 2024年7月16日	第17期末 2024年9月17日
純資産総額	14,992,763円	15,150,261円	15,505,168円
受益権総口数	18,759,781口	18,759,781口	18,759,781口
1万口当たり基準価額	7,992円	8,076円	8,265円

(注) 当作成期間（第15期～第17期）中における追加設定元本額は12,409円、同解約元本額は0円です。

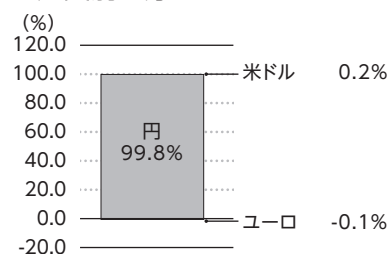
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年9月17日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注2) 通貨別配分については、実質組入比率を記載しています。

ニッセイSDGsインカムファンド（予想分配金提示型・為替ヘッジなし）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第17期末 2024年9月17日
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	67.1%
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	32.9

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

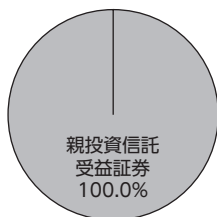
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

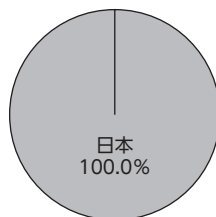
項目	第15期末 2024年5月15日	第16期末 2024年7月16日	第17期末 2024年9月17日
純資産総額	52,454,852円	57,513,265円	55,155,999円
受益権総口数	45,109,598口	48,152,930口	50,227,586口
1万口当たり基準価額	11,628円	11,944円	10,981円

(注) 当作成期間（第15期～第17期）中における追加設定元本額は10,425,884円、同解約元本額は561,785円です。

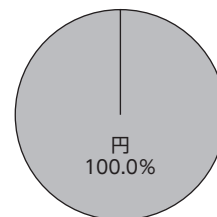
■資産別配分



■国別配分



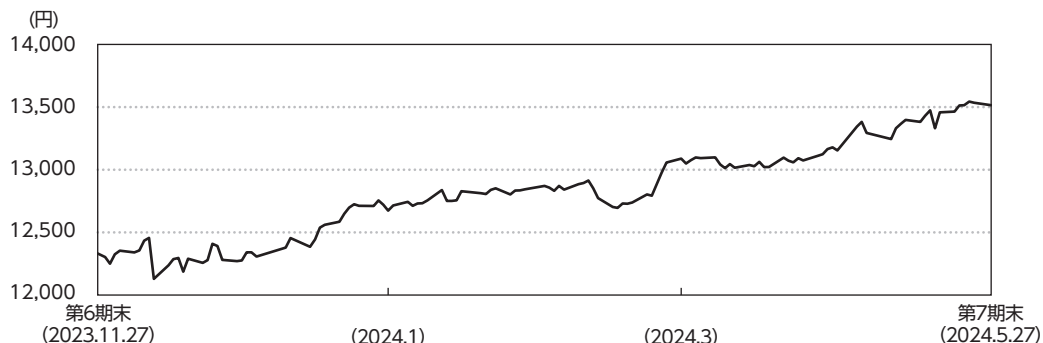
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年9月17日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

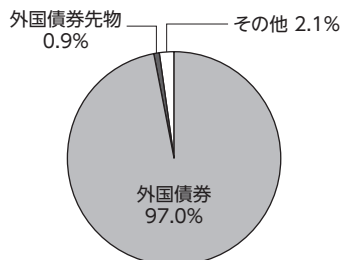
銘柄名	通貨	比率
US 10YEAR ULTRA FUTURE 202406 売	米ドル	7.9%
US 2YR T-NOTE FUTURE 202406 買	米ドル	5.7%
CVS HEALTH CORP 4.875% 2035/7/20	米ドル	4.2%
WHIRLPOOL CORP 4.75% 2029/2/26	米ドル	4.1%
FISERV INC 3.5% 2029/7/1	米ドル	3.9%
MICRON TECHNOLOGY INC 2.703% 2032/4/15	米ドル	3.8%
FORTIS INC 3.055% 2026/10/4	米ドル	3.7%
CNH INDUSTRIAL CAP LLC 5.5% 2029/1/12	米ドル	3.5%
AUTONATION INC 2.4% 2031/8/1	米ドル	3.4%
US 10YR T-NOTE FUTURE 202406 買	米ドル	3.1%
組入銘柄数		48

■ 1万口当たりの費用明細

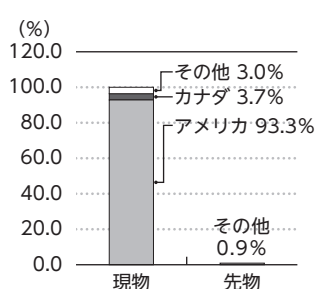
2023.11.28～2024.5.27

項目	金額
売買委託手数料 (先物・オプション)	3円 (3)
その他費用 (保管費用) (その他)	3 (0) (3)
合計	6

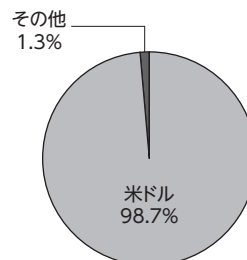
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

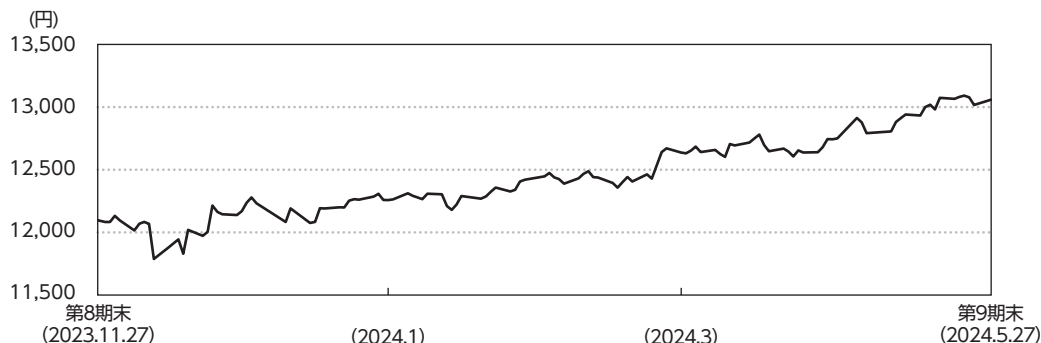
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2024年5月27日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 国別配分における海外先物は上場取引所の国・地域に基づき開示しています。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイSDGs 欧州クレジットマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

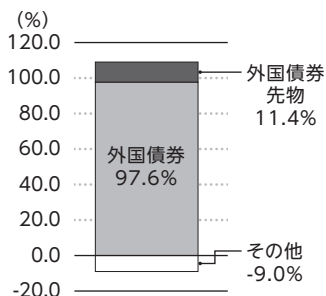
銘柄名	通貨	比率
EURO-SHATZ FUTURE(FGBS) 202406 買	ユーロ	7.6%
VODAFONE GROUP PLC 1.625% 2030/11/24	ユーロ	4.2
CIE DE SAINT-GOBAIN 1.875% 2031/3/15	ユーロ	4.1
BPCE SA 1.375% 2026/3/23	ユーロ	4.0
TELIA CO AB 2.125% 2034/2/20	ユーロ	3.9
NATIONAL GRID PLC 4.275% 2035/1/16	ユーロ	3.9
MOTABILITY OPERATIONS GR 3.625% 2029/7/24	ユーロ	3.8
ABN AMRO BANK NV 4.5% 2034/11/21	ユーロ	3.8
EURO-BUND FUTURE(FGBL) 202406 買	ユーロ	3.7
HSBC HOLDINGS PLC 3.125% 2028/6/7	ユーロ	3.6
組入銘柄数		48

■ 1万口当たりの費用明細

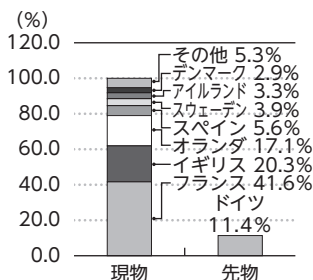
2023.11.28~2024.5.27

項目	金額
売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合計	1

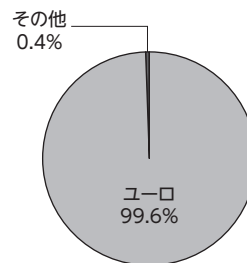
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。
- (注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2024年5月27日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。
- (注3) 国別配分における海外先物は上場取引所の国・地域に基づき開示しています。
- (注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近15期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金			
	円	円	%	円	%	%	百万円
3期(2022年5月16日)	8,734	0	△4.5	8,734	99.4	－	1
4期(2022年7月15日)	8,570	0	△1.9	8,570	104.9	2.2	1
5期(2022年9月15日)	8,367	0	△2.4	8,367	103.6	△0.6	1
6期(2022年11月15日)	8,170	0	△2.4	8,170	93.8	0.6	1
7期(2023年1月16日)	8,365	0	2.4	8,365	89.8	5.6	4
8期(2023年3月15日)	8,177	0	△2.2	8,177	98.3	3.1	4
9期(2023年5月15日)	8,262	0	1.0	8,262	98.9	5.4	5
10期(2023年7月18日)	8,132	0	△1.6	8,132	96.1	△0.4	4
11期(2023年9月15日)	7,949	0	△2.3	7,949	97.8	△1.6	14
12期(2023年11月15日)	7,915	0	△0.4	7,915	98.6	△2.1	14
13期(2024年1月15日)	8,188	0	3.4	8,188	98.9	2.8	15
14期(2024年3月15日)	8,044	0	△1.8	8,044	96.8	1.8	15
15期(2024年5月15日)	7,992	0	△0.6	7,992	99.4	9.1	14
16期(2024年7月16日)	8,076	0	1.1	8,076	98.0	1.9	15
17期(2024年9月17日)	8,265	0	2.3	8,265	93.2	△3.8	15

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 先物比率は買建比率－売建比率です。以下同じです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率	債券 先物比率
第15期	(期首)	円	%	%	%
	2024年3月15日	8,044	—	96.8	1.8
	3月末	8,099	0.7	99.2	4.3
	4月末	7,944	△1.2	99.6	10.8
	(期末)				
第16期	2024年5月15日	7,992	△0.6	99.4	9.1
	(期首)				
	2024年5月15日	7,992	—	99.4	9.1
	5月末	7,949	△0.5	97.7	4.4
	6月末	8,008	0.2	98.8	△ 0.1
第17期	(期末)				
	2024年7月16日	8,076	1.1	98.0	1.9
	(期首)				
	2024年7月16日	8,076	—	98.0	1.9
	7月末	8,107	0.4	92.6	△ 4.0
8月末	8,179	1.3	94.8	△ 4.3	
(期末)					
2024年9月17日	8,265	2.3	93.2	△ 3.8	

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2024年3月16日～2024年9月17日

	第15期～第17期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	千口 511	千円 671	千口 801	千円 1,074
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	358	459	384	495

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2024年3月16日～2024年9月17日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年9月17日現在

種類	第14期末	第17期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	千口 7,874	千口 7,585	千円 9,825
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	4,019	3,994	4,985

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるマザーファンド全体の口数は、ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンドが8,724,086千口、ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドが13,972,988千口です。

投資信託財産の構成

2024年9月17日現在

項目	第17期末	
	評価額	比率
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	千円 9,825	% 63.3
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	4,985	32.1
コール・ローン等、その他	718	4.6
投資信託財産総額	15,529	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月17日における邦貨換算レートは、1米ドル140.77円、1ユーロ156.55円です。

(注2) ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（11,163,435千円）の投資信託財産総額（11,309,050千円）に対する比率は98.7%です。

ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（17,377,303千円）の投資信託財産総額（17,451,338千円）に対する比率は99.6%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2024年5月15日)	(2024年7月16日)	(2024年9月17日)現在
	第15期末	第16期末	第17期末
(A) 資産	31,293,174円	31,441,572円	30,094,330円
コール・ローン等	21,337	21,366	22,109
ニッセイSDGs北米クレジット マザーファンド(評価額)	10,242,386	10,278,505	9,825,862
ニッセイSDGs欧州クレジット マザーファンド(評価額)	5,064,987	5,112,360	4,985,001
未収入金	15,964,464	16,029,341	15,261,358
(B) 負債	16,300,411	16,291,311	14,589,162
未払金	16,277,310	16,267,781	14,564,840
未払信託報酬	22,857	23,282	24,070
その他未払費用	244	248	252
(C) 純資産総額(A-B)	14,992,763	15,150,261	15,505,168
元本	18,759,781	18,759,781	18,759,781
次期繰越損益金	△ 3,767,018	△ 3,609,520	△ 3,254,613
(D) 受益権総口数	18,759,781口	18,759,781口	18,759,781口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,992円	8,076円	8,265円

(注1) 当作成期首元本額 18,747,372円
 当作成期中追加設定元本額 12,409円
 当作成期中一部解約元本額 -円

(注2) 元本の欠損
 当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は3,254,613円です。

損益の状況

（第15期 2024年3月16日～2024年5月15日）

（第16期 2024年5月16日～2024年7月16日）

（第17期 2024年7月17日～2024年9月17日）

項目	第15期	第16期	第17期
(A) 有価証券売買損益	△ 73,944円	181,028円	379,229円
売 買 益	885,019	891,777	1,769,992
売 買 損	△ 958,963	△ 710,749	△ 1,390,763
(B) 信託報酬等	△ 23,101	△ 23,530	△ 24,322
(C) 当期損益金(A+B)	△ 97,045	157,498	354,907
(D) 前期繰越損益金	△ 348,267	△ 445,312	△ 287,814
(分配準備積立金)	(288,320)	(359,798)	(444,188)
(繰越欠損金)	(△ 636,587)	(△ 805,110)	(△ 732,002)
(E) 追加信託差損益金*	△ 3,321,706	△ 3,321,706	△ 3,321,706
(配当等相当額)	(453,820)	(453,852)	(453,852)
(売買損益相当額)	(△ 3,775,526)	(△ 3,775,558)	(△ 3,775,558)
(F) 合計(C+D+E)	△ 3,767,018	△ 3,609,520	△ 3,254,613
次期繰越損益金(F)	△ 3,767,018	△ 3,609,520	△ 3,254,613
追加信託差損益金	△ 3,321,706	△ 3,321,706	△ 3,321,706
(配当等相当額)	(453,852)	(453,852)	(453,852)
(売買損益相当額)	(△ 3,775,558)	(△ 3,775,558)	(△ 3,775,558)
分配準備積立金	359,798	444,188	530,131
繰越欠損金	△ 805,110	△ 732,002	△ 463,038

(注1) (A)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (B)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (D)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (E)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第15期	第16期	第17期
(a) 経費控除後の配当等収益	71,478円	84,390円	85,943円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	453,852円	453,852円	453,852円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	288,320円	359,798円	444,188円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	813,650円	898,040円	983,983円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	433.72円	478.70円	524.52円
(g) 分配金	0円	0円	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円	0円	0円

最近15期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金			
	円	円	%	円	%	%	百万円
3期(2022年5月16日)	9,806	0	3.2	9,806	97.2	—	52
4期(2022年7月15日)	10,189	20	4.1	10,209	96.9	2.1	55
5期(2022年9月15日)	10,270	20	1.0	10,310	97.2	△0.5	54
6期(2022年11月15日)	9,992	0	△2.7	10,032	96.3	0.6	52
7期(2023年1月16日)	9,592	0	△4.0	9,632	94.7	5.9	50
8期(2023年3月15日)	9,904	0	3.3	9,944	96.7	3.0	52
9期(2023年5月15日)	10,208	20	3.3	10,268	96.8	5.3	53
10期(2023年7月18日)	10,448	40	2.7	10,548	95.4	△0.4	54
11期(2023年9月15日)	10,729	60	3.3	10,889	96.9	△1.6	44
12期(2023年11月15日)	11,017	60	3.2	11,237	96.4	△2.1	43
13期(2024年1月15日)	11,060	80	1.1	11,360	96.5	2.8	42
14期(2024年3月15日)	11,116	80	1.2	11,496	97.2	1.8	44
15期(2024年5月15日)	11,628	80	5.3	12,088	97.4	8.9	52
16期(2024年7月16日)	11,944	80	3.4	12,484	96.4	1.8	57
17期(2024年9月17日)	10,981	80	△7.4	11,601	97.6	△4.0	55

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 先物比率は買建比率-売建比率です。以下同じです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率	債券 先物比率
第15期	(期首)	円	%	%	%
	2024年3月15日	11,116	—	97.2	1.8
	3月末	11,388	2.4	97.1	4.2
	4月末	11,606	4.4	97.8	10.6
	(期末) 2024年5月15日	11,708	5.3	97.4	8.9
第16期	(期首)				
	2024年5月15日	11,628	—	97.4	8.9
	5月末	11,612	△0.1	97.2	4.4
	6月末	12,017	3.3	96.5	△ 0.0
	(期末) 2024年7月16日	12,024	3.4	96.4	1.8
第17期	(期首)				
	2024年7月16日	11,944	—	96.4	1.8
	7月末	11,535	△3.4	96.4	△ 4.1
	8月末	11,206	△6.2	96.9	△ 4.4
	(期末) 2024年9月17日	11,061	△7.4	97.6	△ 4.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2024年3月16日～2024年9月17日

	第15期～第17期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	千口 6,197	千円 8,268	千口 1,154	千円 1,547
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	3,227	4,151	692	886

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2024年3月16日～2024年9月17日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年9月17日現在

種類	第14期末	第17期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	千口 23,525	千口 28,569	千円 37,008
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	12,010	14,545	18,153

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるマザーファンド全体の口数は、ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンドが8,724,086千口、ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドが13,972,988千口です。

投資信託財産の構成

2024年9月17日現在

項目	第17期末	
	評価額	比率
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	千円 37,008	% 66.5
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	18,153	32.6
コール・ローン等、その他	486	0.9
投資信託財産総額	55,648	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月17日における邦貨換算レートは、1米ドル140.77円、1ユーロ156.55円です。

(注2) ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（11,163,435千円）の投資信託財産総額（11,309,050千円）に対する比率は98.7%です。

ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（17,377,303千円）の投資信託財産総額（17,451,338千円）に対する比率は99.6%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2024年5月15日)	(2024年7月16日)	(2024年9月17日)現在
	第15期末	第16期末	第17期末
(A) 資産	52,891,694円	57,985,118円	55,648,058円
コール・ローン等	69,420	77,786	81,787
ニッセイSDGs北米クレジット マザーファンド(評価額)	35,103,849	38,411,865	37,008,302
ニッセイSDGs欧州クレジット マザーファンド(評価額)	17,359,065	19,107,280	18,153,320
未収入金	359,360	388,187	404,649
(B) 負債	436,842	471,853	492,059
未払収益分配金	360,876	385,223	401,820
未払信託報酬	75,094	85,640	89,197
その他未払費用	872	990	1,042
(C) 純資産総額(A-B)	52,454,852	57,513,265	55,155,999
元本	45,109,598	48,152,930	50,227,586
次期繰越損益金	7,345,254	9,360,335	4,928,413
(D) 受益権総口数	45,109,598口	48,152,930口	50,227,586口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,628円	11,944円	10,981円
(注) 当作成期首元本額	40,363,487円		
当作成期中追加設定元本額	10,425,884円		
当作成期中一部解約元本額	561,785円		

損益の状況

(第15期 2024年3月16日～2024年5月15日)

(第16期 2024年5月16日～2024年7月16日)

(第17期 2024年7月17日～2024年9月17日)

項目	第15期	第16期	第17期
(A) 有価証券売買損益	2,616,783円	1,966,176円	△4,287,791円
売 買 益	2,627,968	1,966,213	3
売 買 損	△ 11,185	△ 37	△4,287,794
(B) 信託報酬等	△ 75,966	△ 86,630	△ 90,239
(C) 当期損益金(A+B)	2,540,817	1,879,546	△4,378,030
(D) 前期繰越損益金	4,049,490	6,229,431	7,723,754
(分配準備積立金)	(4,049,490)	(6,229,431)	(7,723,754)
(E) 追加信託差損益金*	1,115,823	1,636,581	1,984,509
(配当等相当額)	(1,491,737)	(2,029,487)	(2,460,241)
(売買損益相当額)	(△ 375,914)	(△ 392,906)	(△ 475,732)
(F) 合計(C+D+E)	7,706,130	9,745,558	5,330,233
(G) 収益分配金	△ 360,876	△ 385,223	△ 401,820
次期繰越損益金(F+G)	7,345,254	9,360,335	4,928,413
追加信託差損益金	1,115,823	1,636,581	1,984,509
(配当等相当額)	(1,507,515)	(2,039,584)	(2,464,518)
(売買損益相当額)	(△ 391,692)	(△ 403,003)	(△ 480,009)
分配準備積立金	6,229,431	7,723,754	7,579,765
繰越欠損金	-	-	△4,635,861

(注1) (A)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (B)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (D)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (E)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第15期	第16期	第17期
(a) 経費控除後の配当等収益	305,260円	342,050円	257,831円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,235,557円	1,537,496円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	1,507,515円	2,039,584円	2,464,518円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	4,049,490円	6,229,431円	7,723,754円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	8,097,822円	10,148,561円	10,446,103円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	1,795.14円	2,107.57円	2,079.75円
(g) 分配金	360,876円	385,223円	401,820円
(h) 分配金 (1万口当たり)	80円	80円	80円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

お知らせ

■「<予想分配金提示型・為替ヘッジあり>」の関連会社の実質保有比率

2024年8月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドの信託財産において、委託会社の株主である日本生命保険相互会社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に23.0%保有しています。当該実質保有分は、日本生命保険相互会社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

■「<予想分配金提示型・為替ヘッジなし>」の関連会社の実質保有比率

2024年8月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドの信託財産において、委託会社の株主である日本生命保険相互会社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に23.0%保有しています。当該実質保有分は、日本生命保険相互会社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

各ファンドの概要

		予想分配金提示型・為替ヘッジあり	予想分配金提示型・為替ヘッジなし
商 品 分 類	追加型投信／海外／債券		
信 託 期 間	2021年12月20日～2044年3月15日		
運 用 方 針	下記マザーファンド受益証券への投資を通じて、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。		
	実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。	実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ニッセイSDGs インカムファンド	「ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド」および「ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド」受益証券	
	ニッセイSDGs 北米クレジット マザーファンド	北米の企業が発行する社債	
	ニッセイSDGs 欧州クレジット マザーファンド	欧州の企業が発行する社債	
運 用 方 法	ニッセイSDGs インカムファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	ニッセイSDGs 北米クレジット マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
	ニッセイSDGs 欧州クレジット マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	

分 配 方 針	<p>毎年1・3・5・7・9・11月の各15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。</p> <p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。</p> <p>収益分配方針に基づき、原則として決算日の前営業日の基準価額（1万口当たり。支払い済みの分配金累計額は加算しません。）に応じて、以下の金額の分配をめざします。</p>	
	決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
	10,100円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
	10,100円以上10,400円未満	20円
	10,400円以上10,700円未満	40円
	10,700円以上11,000円未満	60円
	11,000円以上	80円
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分配対象額が少額の場合、あるいは決算日の前営業日から決算日までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。また、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。 ・ 基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。 ・ 基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。 ・ 分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次回決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。 <p>※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。</p> <p>※将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。</p>	

ニッセイSDGs北米クレジット マザーファンド

運用報告書

第 7 期

(計算期間：2023年11月28日～2024年5月27日)

運用方針	主に提供する製品・サービスを通じてSDGs達成にプラスの貢献をしている企業群から、ESG評価、バリュエーション評価等（信用力評価に対する市場価格の割安度）を通じて選別した北米の企業が発行する社債へ投資を行うことで、安定したインカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行います。
	主要運用対象 北米の企業が発行する社債
	運用方法 以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

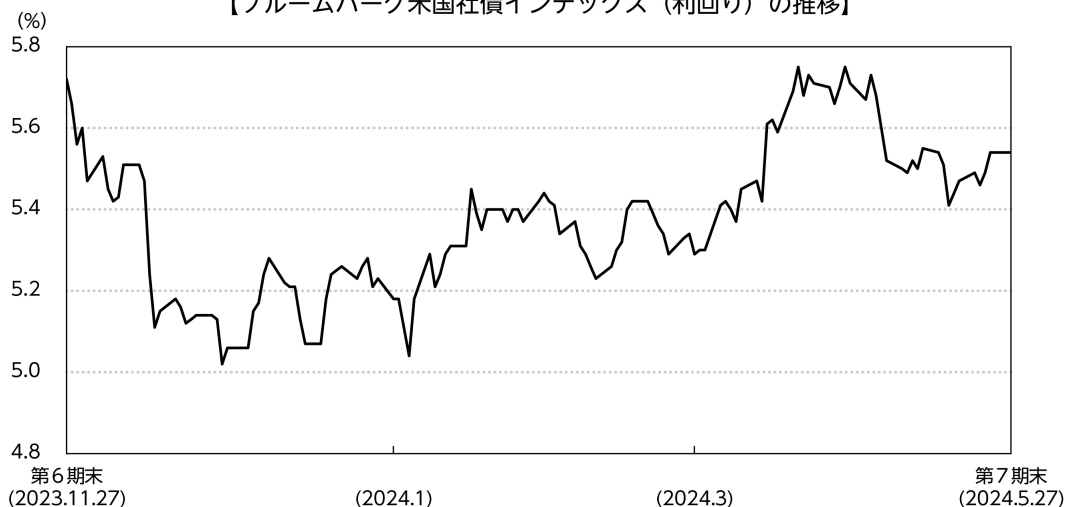
東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2023年11月28日～2024年5月27日

北米社債市況

【ブルームバーグ米国社債インデックス（利回り）の推移】



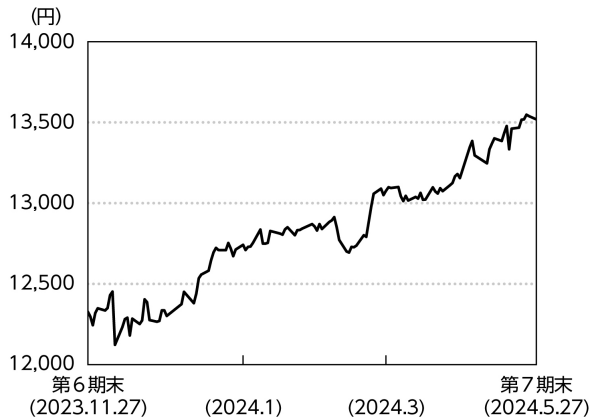
(注) ブルームバーグのデータを使用しています。

社債利回り（ブルームバーグ米国社債インデックス（利回り））は期を通じて見ると低下しました。

米国債利回りは期初から12月末にかけて、米国における景気指標の軟化等から米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げへの期待感が高まったことを背景に大きく低下しました。1月以降、労働市場をはじめ米国景気の堅調さが意識されたほか、インフレ圧力が市場の予想より高止まりするなど、FRBによる利下げ観測が後退する中、じわじわと上昇傾向が続き、期を通じて見ると上昇しました。

米国社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は、期初から12月末にかけて米国における景気指標の軟化等からFRBによる利下げへの期待感が高まったことを背景に縮小しました。1月以降はFRBによる利下げ観測が後退する中、米国労働市場や消費動向が好調を維持し、米国企業決算についても軒並み堅調であったこと、投資家が過去と比較して高水準の利回りを求め需給が引き締まったことなどを背景に縮小傾向が続き、結局、期を通じて見ると縮小しました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 12月中旬から年末にかけて、米国における景気指標の軟化等からFRBによる利下げへの期待感が高まったことを背景に米金利が低下（債券価格は上昇）したこと
- ・ 1月から当期末にかけて、FRBによる利下げ期待が後退し、日米短期金利差が拡大したことを背景に、米ドル高円安基調で推移したこと

<下落要因>

- ・ 3月上旬に市場予想を上回る2月の雇用統計等を受けて米国景気の堅調さが意識され、FRBによる利下観測が後退する中、米金利が上昇したこと

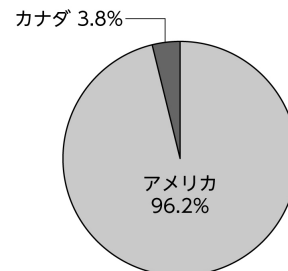
ポートフォリオ

北米の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

<国・地域別投資状況>

当期末における国・地域別配分は右図の通りです。

【国・地域別組入状況】

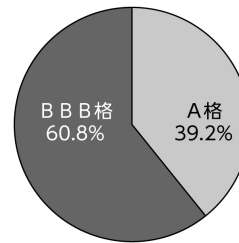


(注) 比率は対組入債券評価額比です。以下同じです。

<格付別投資状況>

SDGs、ESG（環境・社会・企業統治）評価が高く、長期保有が可能な信用力が高いと考える銘柄を中心に組み入れています。当期末の格付分布は右図の通りです。

【格付別組入状況】



(注) 格付は、ムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

参考指数との差異

当マザーファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はブルームバーグ米国社債トータルリターン・インデックス（円換算ベース）の残存年数1-15年のカスタムインデックスです。

当期の基準価額騰落率は+9.6%となり、参考指数騰落率（+9.5%）を上回りました。

これは、主に電力セクターを対参考指数比で多めに保有していたことや、マイクロン・テクノロジーなどスプレッド水準が高い銘柄のパフォーマンスが好調であったことによるものです。

(注) 参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

今後の運用方針

北米の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

引き続き、SDGsを含むESG分析を通して銘柄選択を行い、最長15年までのラダー型ポートフォリオを構成し、社債市場全体（投資適格）を上回るリスク・リターン効率をめざします。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	参考指数	期中	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
		騰落率		騰落率			
	円	%		%	%	%	百万円
3期(2022年5月25日)	10,567	△0.3	10,896	0.1	98.7	—	11,842
4期(2022年11月25日)	11,248	6.4	11,577	6.3	97.0	1.0	10,837
5期(2023年5月25日)	11,490	2.2	11,894	2.7	97.8	7.9	11,634
6期(2023年11月27日)	12,332	7.3	12,862	8.1	96.4	4.3	10,940
7期(2024年5月27日)	13,515	9.6	14,085	9.5	97.0	0.9	11,143

(注1) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

(注2) 先物比率は買建比率－売建比率です。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	債券 組入比率	債券 先物比率
		%		%		
(期首)2023年11月27日	12,332	—	12,862	—	96.4	4.3
11月末	12,325	△0.1	12,845	△0.1	96.4	4.3
12月末	12,307	△0.2	12,819	△0.3	96.1	4.1
2024年1月末	12,731	3.2	13,288	3.3	95.7	2.2
2月末	12,871	4.4	13,430	4.4	96.9	4.9
3月末	13,093	6.2	13,671	6.3	96.9	5.7
4月末	13,344	8.2	13,915	8.2	97.6	13.0
(期末)2024年5月27日	13,515	9.6	14,085	9.5	97.0	0.9

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2023年11月28日～2024年5月27日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (先物・オプション)	3円 (3)	0.022% (0.022)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用 (保管費用)	3 (0)	0.025 (0.004)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(3)	(0.022)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	6	0.047	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（12,830円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2023年11月28日～2024年5月27日

(1) 公社債

			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券	千米ドル 17,485	千米ドル 20,750

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(2) 先物取引の種類別取引状況

種類別		買建		売建	
		新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国	債券先物取引	百万円 38,304	百万円 38,676	百万円 28,651	百万円 28,603

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 外貨建取引の金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

主要な売買銘柄

2023年11月28日～2024年5月27日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
AUTONATION INC	365,328	BOSTON SCIENTIFIC CORP	422,197
GATX CORP	325,052	AMAZON.COM INC	408,802
AIR LEASE CORP	321,242	ZIMMER BIOMET HOLDINGS	408,037
PNC FINANCIAL SERVICES	306,520	ABBVIE INC	396,062
DELL INC	244,100	WALMART INC	359,355
CITIGROUP INC	240,467	T-MOBILE USA INC	269,335
LOWE'S COS INC	183,657	ROPER TECHNOLOGIES INC	171,048
AUTOZONE INC	158,913	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	161,633
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	158,855	FISERV INC	130,440
AMERICAN TOWER CORP	156,912	DUKE ENERGY CORP	102,848

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2024年5月27日現在

(1) 外国（外貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	74,500	68,917	10,811,013	97.0	-	74.6	19.1	3.3
合計	-	-	10,811,013	97.0	-	74.6	19.1	3.3

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド

(外国公社債の内訳)

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額	
				千米ドル	千円
アメリカ	%		千米ドル	千米ドル	千円
社債券					
AIR LEASE CORP	2.2000	2027/01/15	900	825	129,533
AIR LEASE CORP	3.1250	2030/12/01	2,500	2,169	340,349
ALEXANDRIA REAL ESTATE E	1.8750	2033/02/01	2,500	1,873	293,899
AMERICAN TOWER CORP	3.5500	2027/07/15	1,300	1,229	192,853
AMERICAN TOWER CORP	5.5000	2028/03/15	1,000	1,002	157,335
AMERICAN TOWER CORP	5.9000	2033/11/15	1,000	1,021	160,310
AUTONATION INC	2.4000	2031/08/01	3,000	2,400	376,502
AUTOZONE INC	6.2500	2028/11/01	1,000	1,036	162,633
AUTOZONE INC	4.7500	2033/02/01	1,700	1,617	253,785
BANK OF AMERICA CORP	4.1830	2027/11/25	1,500	1,443	226,490
CF INDUSTRIES INC	5.1500	2034/03/15	2,000	1,914	300,315
CITIGROUP INC	6.2700	2033/11/17	1,500	1,573	246,769
CITIGROUP INC	6.1250	2036/08/25	1,000	1,024	160,744
CNH INDUSTRIAL CAP LLC	5.5000	2029/01/12	2,500	2,513	394,222
CVS HEALTH CORP	4.8750	2035/07/20	3,200	2,967	465,444
DELL INC	6.5000	2038/04/15	1,500	1,590	249,533
DELL INT LLC / EMC CORP	8.1000	2036/07/15	1,000	1,195	187,516
DUKE ENERGY CORP	4.5000	2032/08/15	1,000	934	146,670
DUKE ENERGY INDIANA LLC	6.1200	2035/10/15	1,900	1,989	312,112
FISERV INC	3.5000	2029/07/01	3,000	2,762	433,389
FORTIS INC	3.0550	2026/10/04	2,800	2,642	414,572
GATX CORP	6.9000	2034/05/01	2,000	2,161	339,018
GEORGIA-PACIFIC LLC	0.9500	2026/05/15	1,900	1,742	273,323
GEORGIA-PACIFIC LLC	2.3000	2030/04/30	1,200	1,025	160,929
JPMORGAN CHASE & CO	1.7640	2031/11/19	1,200	964	151,289
JPMORGAN CHASE & CO	1.9530	2032/02/04	1,200	971	152,436
LOWE'S COS INC	1.7000	2030/10/15	1,600	1,292	202,819
LOWE'S COS INC	5.1500	2033/07/01	100	98	15,529
MASCO CORP	2.0000	2030/10/01	1,200	975	153,010
MERRILL LYNCH & CO	7.7500	2038/05/14	1,000	1,190	186,807
MICRON TECHNOLOGY INC	2.7030	2032/04/15	3,300	2,721	426,943
MORGAN STANLEY	2.4840	2036/09/16	2,000	1,575	247,123
MORGAN STANLEY	5.9480	2038/01/19	1,500	1,489	233,657
NEXTERA ENERGY CAPITAL	5.0500	2033/02/28	1,700	1,653	259,379
PACIFIC LIFE CORP	6.6000	2033/09/15	900	950	149,168
PNC FINANCIAL SERVICES	5.0680	2034/01/24	800	768	120,553
PNC FINANCIAL SERVICES	5.6760	2035/01/22	2,000	2,001	313,928
REPUBLIC SERVICES INC	1.7500	2032/02/15	700	547	85,909
REPUBLIC SERVICES INC	2.3750	2033/03/15	2,100	1,669	261,831

ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額		
				千米ドル	千円	
アメリカ	%		千米ドル	千米ドル	千円	
社債券						
	T-MOBILE USA INC	2.5500	2031/02/15	2,200	1,853	290,772
	UNION PACIFIC CORP	3.3750	2035/02/01	2,500	2,130	334,195
	UNION PACIFIC CORP	2.8910	2036/04/06	1,000	798	125,241
	UNITEDHEALTH GROUP INC	6.6250	2037/11/15	1,000	1,107	173,731
	VERISK ANALYTICS INC	4.0000	2025/06/15	600	589	92,405
	WHIRLPOOL CORP	4.7500	2029/02/26	3,000	2,907	456,021
合計	-	-	-	-	-	10,811,013

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別	当期末		
	買建額	売建額	
	百万円	百万円	
外国			
	2 YEAR US TREASURY NOTE FUTURES	636	-
	10 YEAR US TREASURY NOTE FUTURES	341	-
	US 10YEAR ULTRA FUTURES	-	878

(注1) 外貨建ての評価額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

投資信託財産の構成

2024年5月27日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	10,811,013	97.0
コール・ローン等、その他	334,154	3.0
投資信託財産総額	11,145,167	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお5月27日における邦貨換算レートは、1米ドル156.87円です。

(注2) 外貨建純資産（11,000,283千円）の投資信託財産総額（11,145,167千円）に対する比率は98.7%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年5月27日現在)

項目	当期末
(A) 資産	11,144,947,159円
コール・ローン等	148,682,703
公社債(評価額)	10,811,013,084
未収入金	367,664
未収利息	105,487,069
前払費用	7,268,386
差入委託証拠金	72,128,253
(B) 負債	1,859,400
未払金	1,196,159
未払解約金	663,241
(C) 純資産総額(A-B)	11,143,087,759
元本	8,245,152,788
次期繰越損益金	2,897,934,971
(D) 受益権総口数	8,245,152,788口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,515円

- (注1) 期首元本額 8,871,334,494円
 期中追加設定元本額 300,925,047円
 期中一部解約元本額 927,106,753円
- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。
 ニッセイSDGs北米クレジットファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家限定) 5,773,933,447円
 ニッセイSDGs北米クレジットファンド (為替ヘッジあり) (非課税適格機関投資家限定) 2,321,931,236円
 ニッセイSDGsインカムファンド (資産成長型・為替ヘッジあり) 12,305,312円
 ニッセイSDGsインカムファンド (資産成長型・為替ヘッジなし) 103,415,534円
 ニッセイSDGsインカムファンド (予想分配金提示型・為替ヘッジあり) 7,454,873円
 ニッセイSDGsインカムファンド (予想分配金提示型・為替ヘッジなし) 26,112,386円

損益の状況

当期 (2023年11月28日~2024年5月27日)

項目	当期
(A) 配当等収益	239,530,696円
受取利息	239,533,993
支払利息	△ 3,297
(B) 有価証券売買損益	782,787,747
売買益	809,932,179
売買損	△ 27,144,432
(C) 先物取引等損益	23,266,888
取引益	138,033,517
取引損	△ 114,766,629
(D) 信託報酬等	△ 2,904,420
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	1,042,680,911
(F) 前期繰越損益金	2,069,016,456
(G) 追加信託差損益金	70,719,831
(H) 解約差損益金	△ 284,482,227
(I) 合計(E+F+G+H)	2,897,934,971
次期繰越損益金(I)	2,897,934,971

- (注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (G)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (H)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

ニッセイSDGs欧州クレジット マザーファンド

運用報告書

第9期

(計算期間：2023年11月28日～2024年5月27日)

運用方針	主に提供する製品・サービスを通じてSDGs達成にプラスの貢献をしている企業群から、ESG評価、バリュエーション評価等（信用力評価に対する市場価格の割安度）を通じて選別した欧州の企業が発行する社債へ投資を行うことで、安定したインカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行います。
	主要運用対象 欧州の企業が発行する社債
	運用方法 以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

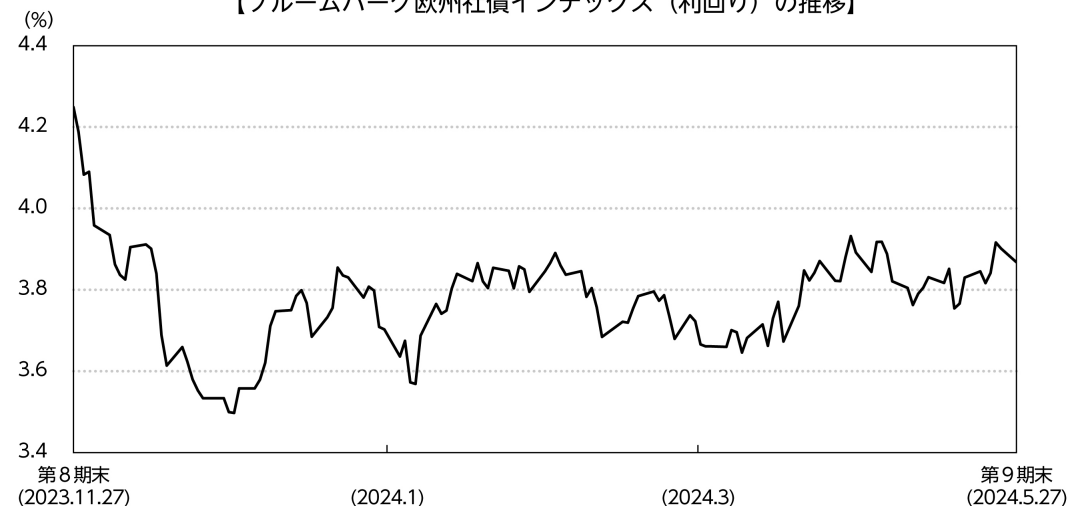
東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2023年11月28日～2024年5月27日

欧州社債市況

【ブルームバーグ欧州社債インデックス（利回り）の推移】



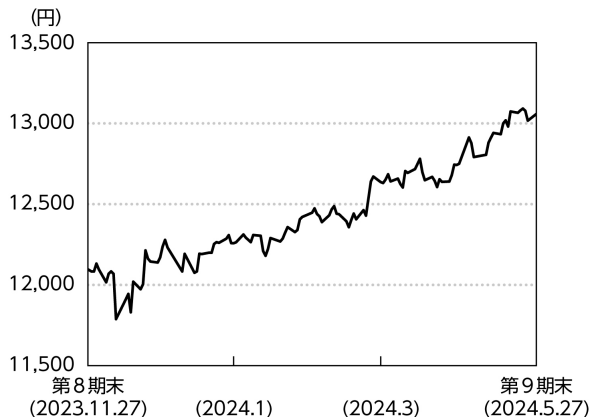
(注) ブルームバーグのデータを使用しています。

社債利回り（ブルームバーグ欧州社債インデックス（利回り））は期を通じて見ると低下しました。

欧州国債利回りは期初から12月末にかけて、欧米における景気指標の軟化等から欧州中央銀行（ECB）による利下げへの期待が高まったことを背景に大きく低下しました。1月以降、欧州圏の経済指標は引き続き弱含んだものの、米国景気の堅調さが意識されたほか、インフレ圧力が市場の予想より高止まりするなど、米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ観測が後退する中、欧州金利についてもじわりと上昇傾向が続き、期を通じて見ると同程度の推移となりました。

欧州社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は、12月末にかけて欧米における景気指標の軟化等からECBによる利下げへの期待が高まったことを背景に縮小しました。1月以降はECBが深刻な景気後退に陥る前に利下げに踏み切るとの期待感が根強かったことや、投資家が過去と比較して高水準の利回りを求め需給が引き締まったことなどを背景に縮小傾向が続き、結局、期を通じて見ると縮小しました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・12月中旬から年末にかけて、欧米における景気指標の軟化等からECBによる利下げへの期待感が高まったことを背景に欧州金利が低下（債券価格は上昇）したこと
- ・1月から当期末にかけて、ECBによる利下げ観測が後退し、日欧短期金利差が拡大したことを背景に、ユーロ高円安基調で推移したこと

<下落要因>

- ・期初から12月上旬にかけて、日銀による金融緩和と政策の修正期待が高まり日欧金利差が縮小したことにより、ユーロ安円高が急激に進行したこと

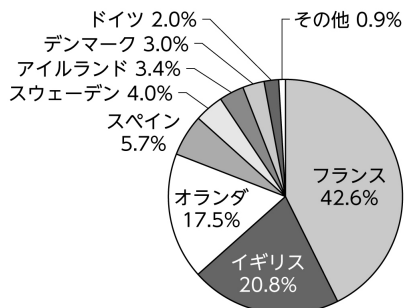
ポートフォリオ

欧州の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

<国・地域別投資状況>

当期末における国・地域別配分は右図の通りです。

【国・地域別組入状況】

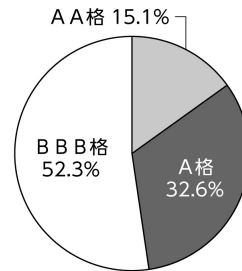


(注) 比率は対組入債券評価額比です。以下同じです。

<格付別投資状況>

SDGs、ESG（環境・社会・企業統治）評価が高く、長期保有が可能な信用力が高いと考える銘柄を中心に組み入れています。当期末の格付分布は右図の通りです。

【格付別組入状況】



(注) 格付は、ムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

参考指数との差異

当マザーファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はブルームバーグ汎欧州総合社債トータルリターン・インデックス（円換算ベース）の残存年数1-15年のカスタムインデックスです。

当期の基準価額騰落率は+8.0%となり、参考指数騰落率（+9.1%）を下回りました。

これは、主に参考指数に含まれるイギリス・ポンド建て債券を非保有としていた効果のマイナス寄与によるものです。

(注) 参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

今後の運用方針

欧州の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

引き続き、SDGsを含むESG分析を通して銘柄選択を行い、最長15年までのラダー型ポートフォリオを構成し、社債市場全体（投資適格）を上回るリスク・リターン効率をめざします。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率		参考指数	期中騰落率		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		円	%		%	%			
5期(2022年5月25日)	10,377	△	6.3	10,662	△	5.6	98.5	—	22,393
6期(2022年11月25日)	10,525		1.4	10,767		1.0	97.7	—	17,819
7期(2023年5月25日)	10,854		3.1	11,020		2.3	96.6	—	17,676
8期(2023年11月27日)	12,097		11.5	12,321		11.8	96.7	—	17,729
9期(2024年5月27日)	13,059		8.0	13,441		9.1	97.6	11.4	17,783

(注1) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

(注2) 先物比率は買建比率－売建比率です。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		参考指数	騰落率		債券組入比率	債券先物比率
		円	%		%	%		
(期首)2023年11月27日	12,097		—	12,321		—	96.7	—
11月末	12,132		0.3	12,370		0.4	96.7	—
12月末	12,232		1.1	12,532		1.7	97.7	—
2024年1月末	12,279		1.5	12,607		2.3	98.1	—
2月末	12,425		2.7	12,784		3.8	97.8	—
3月末	12,641		4.5	13,018		5.7	97.5	1.3
4月末	12,913		6.7	13,264		7.7	98.2	5.7
(期末)2024年5月27日	13,059		8.0	13,441		9.1	97.6	11.4

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2023年11月28日～2024年5月27日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)	0.001% (0.001)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.005 (0.004)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	1	0.005	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（12,445円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2023年11月28日～2024年5月27日

(1) 公社債

			買付額	売付額
外国	ユーロ	オランダ	千ユーロ	千ユーロ
		特殊債券	–	4,754
		社債券	4,828	2,942
		ルクセンブルグ	–	1,278
		フランス	13,261	11,073
		ドイツ	–	7,958
		スペイン	2,084	2,319
		その他	12,253	6,116
				(1,600)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 地域は発行通貨によって区分しています。また、その他には国際機関等を含みます。以下同じです。

(注3) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注4) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(2) 先物取引の種類別取引状況

種類別		買建		売建	
		新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国	債券先物取引	百万円	百万円	百万円	百万円
		2,409	433	2,762	2,784

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 外貨建取引の金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

主要な売買銘柄

2023年11月28日～2024年5月27日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
NATIONAL GRID PLC	662,664	CADENT FINANCE PLC	719,748
MOTABILITY OPERATIONS GR	649,158	TENNET HOLDING BV	624,036
ACCOR SA	609,799	ORANGE SA	554,207
APRR SA	506,381	SAP SE	523,030
JAB HOLDINGS BV	438,152	DEUTSCHE TELEKOM INT FIN	423,771
BNP PARIBAS	411,234	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	378,577
ING GROEP NV	349,983	CARREFOUR	329,857
BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	340,205	BAYER AG	293,475
NYKREDIT REALKREDIT AS	338,308	E.ON SE	253,380
TESCO CORP TREASURY SERV	336,891	CREDIT AGRICOLE SA	252,825

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2024年5月27日現在

(1) 外国（外貨建）公社債

区分	額面金額	評価額		当期末		残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
アイルランド	4,000	3,497	595,149	3.3	—	1.6	1.8	—
オランダ	19,700	17,826	3,033,504	17.1	—	17.1	—	—
フランス	47,900	43,504	7,403,215	41.6	—	28.0	7.1	6.5
ドイツ	2,400	2,046	348,254	2.0	—	2.0	—	—
スペイン	6,000	5,849	995,364	5.6	—	2.0	3.2	0.5
フィンランド	1,000	949	161,612	0.9	—	—	0.9	—
その他	29,700	28,339	4,822,508	27.1	—	18.7	8.4	—
合計	—	—	17,359,609	97.6	—	69.4	21.3	7.0

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド

(外国公社債の内訳)

銘柄名		利率	償還年月日	額面金額	評価額	
					千ユーロ	千円
ユーロ		%		千ユーロ	千ユーロ	千円
アイルランド						
社債券	CLOVERIE PLC ZURICH INS	1.5000	2028/12/15	2,000	1,839	313,102
	LINDE PLC	1.6250	2035/03/31	2,000	1,657	282,046
小計		-	-	-	-	595,149
オランダ						
社債券	ABN AMRO BANK NV	4.5000	2034/11/21	3,700	3,926	668,168
	ENBW INTL FINANCE BV	1.8750	2033/10/31	1,700	1,443	245,606
	ENEL FINANCE INTL NV	0.8750	2036/06/17	5,000	3,521	599,211
	ING GROEP NV	2.1250	2031/05/26	1,500	1,438	244,845
	ING GROEP NV	4.7500	2034/05/23	2,000	2,137	363,714
	JAB HOLDINGS BV	5.0000	2033/06/12	2,500	2,634	448,338
	UNILEVER FINANCE	2.2500	2034/05/16	1,800	1,626	276,796
	VONOVIA FINANCE BV	1.1250	2034/09/14	1,500	1,097	186,823
小計		-	-	-	-	3,033,504
フランス						
社債券	ACCOR SA	2.3750	2028/11/29	4,000	3,761	640,138
	APRR SA	1.6250	2032/01/13	3,500	3,049	518,953
	ARKEMA	1.5000	2027/04/20	1,000	942	160,403
	BANQUE FED CRED MUTUEL	3.7500	2033/02/01	3,700	3,720	633,060
	BNP PARIBAS	4.7500	2032/11/13	1,600	1,680	285,989
	BNP PARIBAS	0.8750	2033/08/31	3,000	2,606	443,546
	BPCE SA	1.3750	2026/03/23	4,400	4,211	716,649
	CAPGEMINI SE	1.7500	2028/04/18	1,200	1,124	191,328
	CAPGEMINI SE	1.1250	2030/06/23	2,000	1,748	297,480
	CARREFOUR	1.7500	2026/05/04	1,300	1,256	213,838
	CIE DE SAINT-GOBAIN	1.8750	2031/03/15	4,800	4,291	730,364
	CREDIT AGRICOLE ASSRNCES	5.8750	2033/10/25	1,000	1,102	187,578
	CREDIT AGRICOLE LONDON	1.3750	2027/05/03	700	656	111,755
	CREDIT AGRICOLE SA	0.3750	2025/10/21	1,000	954	162,505
	DANONE SA	0.7090	2024/11/03	400	394	67,123
	ENGIE SA	2.1250	2032/03/30	1,000	894	152,290
	ENGIE SA	1.0000	2036/10/26	5,000	3,617	615,641
	ESSILORLUXOTTICA	0.3750	2027/11/27	1,000	903	153,692
	KLEPIERRE	1.6250	2032/12/13	4,000	3,355	570,947
	SUEZ	1.6250	2032/09/21	2,100	1,797	305,858
VEOLIA ENVIRONNEMENT	6.1250	2033/11/25	1,200	1,434	244,068	
小計		-	-	-	-	7,403,215

ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額		
				千ユーロ	千円	
ユーロ	%		千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ						
社債券	BAYER AG	1.3750	2032/07/06	900	724	123,280
	WPP FINANCE DEUTSCHLAND	1.6250	2030/03/23	1,500	1,322	224,974
	小計	-	-	-	-	348,254
スペイン						
社債券	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	0.7500	2025/06/04	500	485	82,586
	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	4.6250	2031/01/13	2,000	2,067	351,863
	BANCO SANTANDER SA	2.1250	2028/02/08	3,500	3,296	560,913
	小計	-	-	-	-	995,364
フィンランド						
社債券	STORA ENSO OYJ	2.5000	2028/03/21	1,000	949	161,612
	小計	-	-	-	-	161,612
その他						
特殊債券	ORSTED A/S	1.5000	2029/11/26	1,100	983	167,347
社債券	BRITISH TELECOMMUNICATIO	2.1250	2028/09/26	3,100	2,913	495,732
	HSBC HOLDINGS PLC	3.1250	2028/06/07	3,900	3,779	643,208
	MOTABILITY OPERATIONS GR	3.6250	2029/07/24	4,000	3,996	680,019
	NATIONAL GRID PLC	4.2750	2035/01/16	4,000	4,059	690,767
	NYKREDIT REALKREDIT AS	4.6250	2029/01/19	2,000	2,060	350,642
	TELIA CO AB	2.1250	2034/02/20	4,600	4,093	696,535
	TESCO CORP TREASURY SERV	4.2500	2031/02/27	2,000	2,036	346,469
	VODAFONE GROUP PLC	1.6250	2030/11/24	5,000	4,417	751,785
	小計	-	-	-	-	4,822,508
	合計	-	-	-	-	17,359,609

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別	当期末		
	買建額	売建額	
	百万円	百万円	
外国			
	EURO-BUND FUTURES(FGBL)	664	-
	EURO-SCHATZ FUTURES(FGBS)	1,357	-

(注1) 外貨建ての評価額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

投資信託財産の構成

2024年5月27日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	17,359,609	97.5
コール・ローン等、その他	437,007	2.5
投資信託財産総額	17,796,617	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお5月27日における邦貨換算レートは、1米ドル156.87円、1ユーロ170.17円です。

(注2) 外貨建純資産（17,712,955千円）の投資信託財産総額（17,796,617千円）に対する比率は99.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年5月27日現在)

項目	当期末
(A) 資産	17,796,617,028円
コール・ローン等	171,362,822
公社債(評価額)	17,359,609,387
未収利息	163,532,948
前払費用	35,709,604
差入委託証拠金	66,402,267
(B) 負債	13,165,366
未払金	12,686,173
未払解約金	479,193
(C) 純資産総額(A - B)	17,783,451,662
元本	13,617,620,121
次期繰越損益金	4,165,831,541
(D) 受益権総口数	13,617,620,121口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,059円

- (注1) 期首元本額 14,656,491,692円
 期中追加設定元本額 165,317,930円
 期中一部解約元本額 1,204,189,501円
- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。
 ニッセイSDGs欧州クレジットファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家限定) 10,051,068,685円
 ニッセイSDGs欧州クレジットファンド (為替ヘッジあり) (非課税適格機関投資家限定) 3,490,142,216円
 ニッセイSDGsインカムファンド (資産成長型・為替ヘッジあり) 6,298,348円
 ニッセイSDGsインカムファンド (資産成長型・為替ヘッジなし) 52,931,361円
 ニッセイSDGsインカムファンド (予想分配金提示型・為替ヘッジあり) 3,815,622円
 ニッセイSDGsインカムファンド (予想分配金提示型・為替ヘッジなし) 13,363,889円

損益の状況

当期 (2023年11月28日~2024年5月27日)

項目	当期
(A) 配当等収益	220,529,523円
受取利息	220,421,162
その他収益金	113,011
支払利息	△ 4,650
(B) 有価証券売買損益	1,145,340,532
売買益	1,201,745,045
売買損	△ 56,404,513
(C) 先物取引等損益	3,772,042
取引益	16,493,931
取引損	△ 12,721,889
(D) 信託報酬等	△ 859,357
(E) 当期損益金(A + B + C + D)	1,368,782,740
(F) 前期繰越損益金	3,072,926,754
(G) 追加信託差損益金	36,665,885
(H) 解約差損益金	△ 312,543,838
(I) 合計(E + F + G + H)	4,165,831,541
次期繰越損益金(I)	4,165,831,541

- (注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (G)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (H)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

指数に関して

■ ファンドのベンチマーク等について

*各マザーファンドの参考指数の詳細です。

- ・ブルームバーグ米国社債トータルリターン・インデックス（円換算ベース）の残存年数1－15年のカスタムインデックス

ブルームバーグ米国社債トータルリターン・インデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、米ドル建て投資適格社債市場のパフォーマンスを表します。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。

- ・ブルームバーグ汎欧州総合社債トータルリターン・インデックス（円換算ベース）の残存年数1－15年のカスタムインデックス

ブルームバーグ汎欧州総合社債トータルリターン・インデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、汎欧州通貨建て投資適格社債市場のパフォーマンスを表します。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。